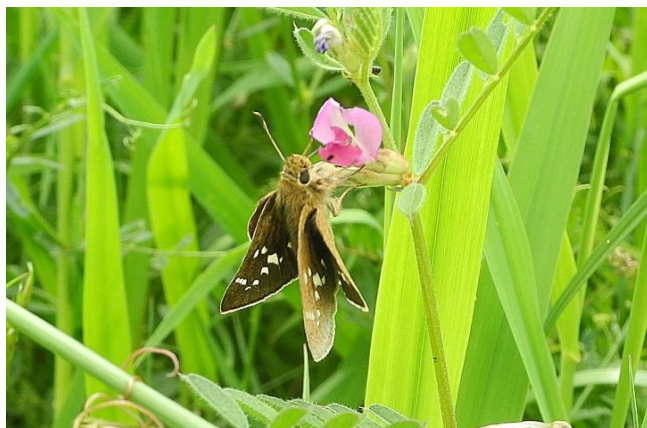
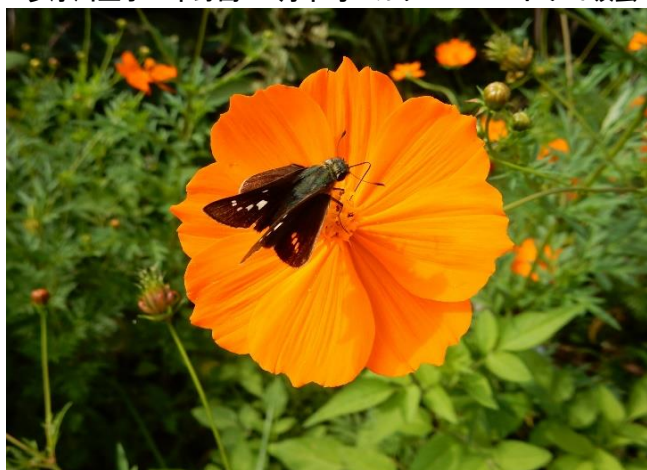


和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
イチモンジセセリ	セセリチョウ科	最も代表的なセセリ	○	○	○	本州以南



多摩川土手 中野島 4月下旬 カラスノエンドウで吸蜜



多摩川土手 中野島 9月下旬 キバナコスモスで吸蜜

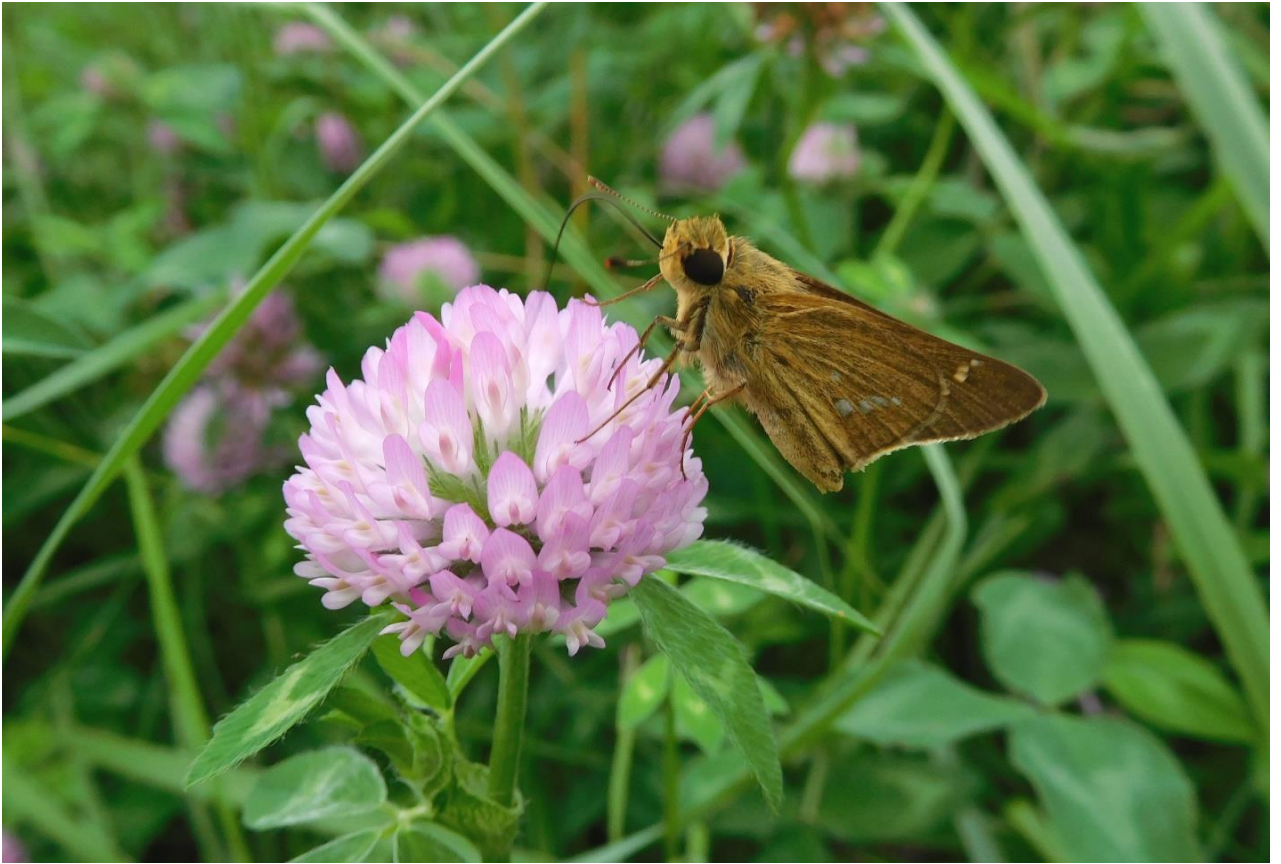
成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹		発生回数/年				越冬形態			
イネ、ススキほか				3~4				幼虫			

ごく普通にハイム内でも見かけるセセリチョウでいろんな花で吸蜜します。幼虫がイネを食すことから害虫として悪名が高いのですが稲田が殆ど見られないこの付近では余りびんときません。そもそも害虫、益虫(ミツバチ、カイコほか)は現実的ではあるものの勝手な分け方にも思えます。

約百年近く前にアメリカから食用蛙の餌として輸入されたたった20匹のアメリカザリガニが全国に繁殖してしまい、その雑食性から稲の苗、水生動植物を食べることにより農業被害だけでなく、生態系まで乱しているのとは異なります。写真の東高根森林公園の看板に、「でも、ザリガニだけはやっつけてね!!」と小さく書いてあるのには吹き出しました。



東高根森林公園(武蔵溝の口)の看板



中野島 7月中旬 アカツメクサで吸蜜